学校番号	305

令和３年度　地歴・公民科

教科	地歴・公民	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版「詳説日本史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした東アジアを中心とした世界の国々の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ歴史的思考を養い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・我が国の歴史の展開を世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	我が国の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史について基本的な事柄を地理的条件や東アジアを中心に世界の国々の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート （主題学習） 振り返りシート	定期考査 ワークシート （主題学習） レポート	定期考査 ワークシート （主題学習） 自作の歴史新聞	定期考査 （主題学習） 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	原始・古代	・歴史と資料 ・日本文化の黎明と古代国家の形成 ・古代国家の推移と社会の変化	○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:遺跡や遺物など様々な歴史資料に着目し、歴史を考察する基本的な方法を理解し、歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
前期	中世	・歴史の解釈 ・中世国家の形成 ・中世社会の展開	○	 ○	 ○ ○	○ ○	a:歴史資料を含む諸資料を活用し、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色を考察し、武士の土地支配の仕組みや中国・朝鮮との関連、仏教についての関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 ｂ:設定された時代の特質を見出し国際環境と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりしている。 d:中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

前期	近世	・歴史の説明 ・近世国家の形成 ・産業経済の発展と幕藩体制の変容	○	○	○ ○ ○	○	a:ヨーロッパ世界との接触、アジア各地との関係、織豊政権や幕藩体制、身分制度の形成や儒学をはじめとする文化に関心を深め、意欲的に追求しようとしている。 b:設定された時代の特質を見出し国際環境と 関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりしている。 d:近世国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
後期	近代・現代((近代国家の成立)	・明治維新と立憲体制の成立 ・国際社会の推移と立憲国家の展開 ・近代産業の発展と近代文化	○ ○	○	○ ○	○	a:開国と幕府の滅亡、開国後の欧米文化の影響や国際社会の変化、自由民権運動や立憲体制の成立に関心を深め、意欲的に追求しようとしている。 b:設定された時代の特質を見出し国際環境と 関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりしている。 d:近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

後期	近代・現代(二つの世界大戦とアジア)	・政党政治の発展と大衆社会の形成 ・第一次世界大戦と日本の経済・社会 ・第二次世界大戦と日本	○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:国内において政党政治や社会運動の動向、文化の大衆化に着目し、対外的には国際社会の動向やアジアの近隣諸国とのかかわりについて理解を深め意欲的に追求しようとしている。 b:設定された時代の特質を見出し国際環境と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりしている。 d:近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
後期	近代・現代(占領下の日本)(高度成長の時代)(激動する世界と日本)	・現代日本の政治と国際社会 ・経済の発展と国民生活の変化 ・歴史の論述	○ ○	 ○ ○	 ○	○	a:占領政策と諸改革、新憲法の制定や平和条約、経済復興や高度経済成長等について理解を深め、世界の中の日本、国際社会における貢献、石油危機を経て世界有数の経済大国となる過程等について理解を深め、関心を持って意欲的に追求しようとしている。 b: 設定された時代の特質を見出し、国際環境と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりしている。 d:現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて理解し、世界での日本の立場を認識し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。